

顔の器官の役目とは？



アイヌ民族の民俗学者の萱野さんは、口と耳について、「言葉というものはね、どんなに切れる刀よりも強いんだよ。だからカムイ（神）は相手の言い分に十分に耳を傾け、きちんと発音できるようにと、二つの耳と一枚の舌を人間に与えてくれたのさ。」と語っています。自分と周囲との好ましい関係を意味しているもので、好ましくない使い方をすれば社会秩序を乱すこととなります。

このことを含め、顔の4つの器官の正しい使い方を考えてみると、鼻で健やかな呼吸をして、二つの目によって周囲の状況を細大もらさず観察することと二つの耳によって周囲の意見を十分に聞き取ることで的確な判断を下し、その判断に基づいて言葉を口にすべきかどうかを分別して、発言すべき時は建設的な考えを口にすべきだと思います。学校生活でも同じです。子どもたちには、まず、二つの目によって、現在、周囲がどのような状況にあるかを見てほしいと思います。そして、先生方の指示をよく聞き取ってほしいと思います。そうすれば、今、口を開くべきか否かは、自明のことだと判断できるはずです。そして、もう一つのことを忘れないでほしいことがあります。嫌な臭いや嗅ぎたくない臭いは一時呼吸を止めれば鼻に感じないですむし、目を閉じれば見たくないものを見ないですむでしょう。そして何も言いたくなければ口を開かなければよい、鼻も目も口も、自分の意思でその機能を



止めることができます。しかし、耳だけはそうはゆきません。耳栓をしたり、両手で耳を覆わないかぎり否応なくどのような音も飛び込んできます。誰かが雑音を出せば、好むと好まざるとにかかわらず、全員がそれを聞かなければなりません。そのことで嫌な思いをする子どももいるのです。改めて、健全な集団生活を目指し、子どもたちに、集団の中での発言に責任が持てるように指導していきたいと思います。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

中学部3年生の修学旅行から

先週は、中学部3年生の修学旅行が一泊2日の日程で、行われました。普段、子供たちと直接話す機会は少ないのですが、活動の中で話す機会を持つことができました。子どもたちは全員、素直でけじめのある態度で接してくれました。また、良い思い出をこれまで一緒に頑張ってきた仲間たちとできるだけ作りたいと笑顔で活動している姿が印象的でした。お互いを気遣いながら集団で過ごそうとする態度に好感が持てました。これからも、また本校を卒業した後も子供たちの友人関係が続くことでしょう。あつという間の2日間でしたが、私にとっても思いで深い修学旅行となりました。思春期の難しい子どもたちですが、改めて、その素直さや明るさを感じさせてくれました。この日本の宝でもある子どもたちと一緒に時間を過ごせたことに感謝します。



今週、幼稚部運動会が開催されます。

いよいよ、本日、幼稚部の運動会が開催されます。保護者の皆様にとっては、お子様の健やかな成長を感じることでできることでしょうか。また、参観いただけると、子どもたちから明るい笑顔と元気や勇気をもらえるはずです。手作りの運動会です。足りない部分もあるかもしれませんが、しかし、子どもたちの頑張りや教師の努力が感じられる素晴らしい運動会だと思います。保護者のご協力を得て、運動会を成功させたいと思います。秋の一日を、子どもと一緒に素敵な汗と貴重な時間を共有していただけることを願っています。

